

キュウリ経営における県開発キュウリ 小型自動選別機の導入効果

研究のねらい

平成19年に農業技術センターがオギワラ精機(株)と共同で開発したキュウリ小型自動選別機(以下「選別機」)は、県内で38台導入されています(平成23年11月現在)。今後のさらなる導入に向けて、労力とコストの面から現地での導入効果を検証しました。

技術の特徴

- 1 選別機導入農家と未導入農家の10箱あたりのキュウリ選別時間と箱詰め時間は、導入農家で1.06時間、未導入農家では1.40時間かかり、選別機を導入すると作業時間が約2割削減されます(図1)。

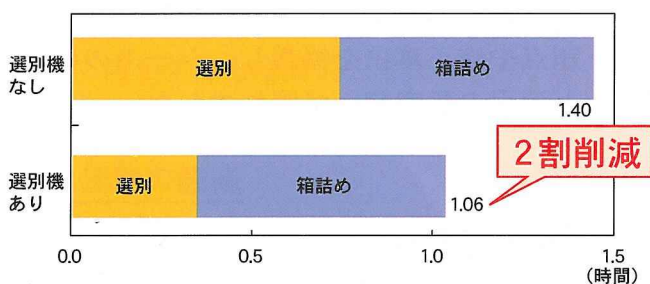


図1 10箱あたりの作業時間

- 2 選別機導入農家の促成栽培における一人あたり作業時間は、この作型を通した1日あたり平均で、選別機ありは2.5時間、なしでは3.1時間となりました。

また、6月上旬の出荷ピーク時には、選別機ありでは4.5時間、なしでは5.6時間となり、その差は1.1時間に拡大しました(図2)。

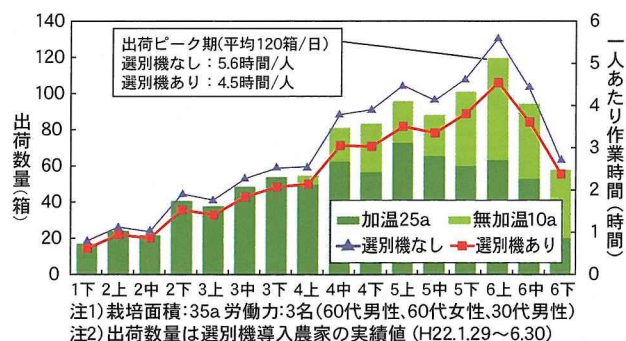
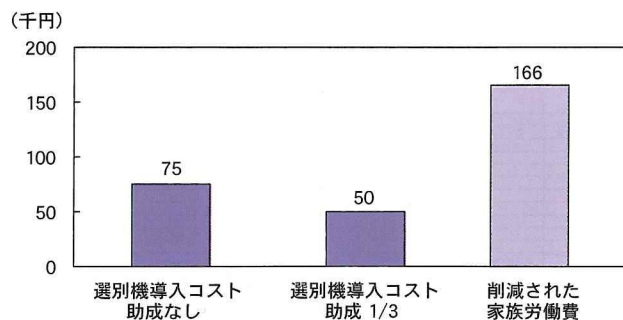


図2 旬ごとの一日出荷数量と一人あたり作業時間

- 3 経営面積30aを想定した場合、年間10aあたりの選別機導入コストは75千円となります(図3)。
- 4 選別機利用によって削減された時間を家族労働費(1,500円/時)に換算すると、166千円となります(図3)。



注1) 選別機導入コストは減価償却費、修繕費、電気使用料を含む
注2) 助成1/3は県単独補助事業を想定

図3 30aの促成栽培における選別機導入コストと削減された家族労働費

今後の取り組み

今後は、「キュウリ小型自動選別機導入の手引き」やフォローアップセミナーなどを通じて選別機利用の利点を広く知ってもらい、選別機のさらなる普及に努めていきます。

(執筆者: 田嶋 誠也)